

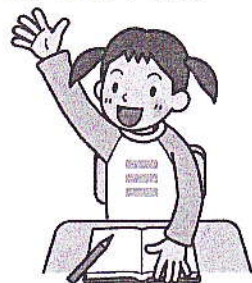
いつでも、どこでも、誰にでも…

楽しい<科学>の体験を

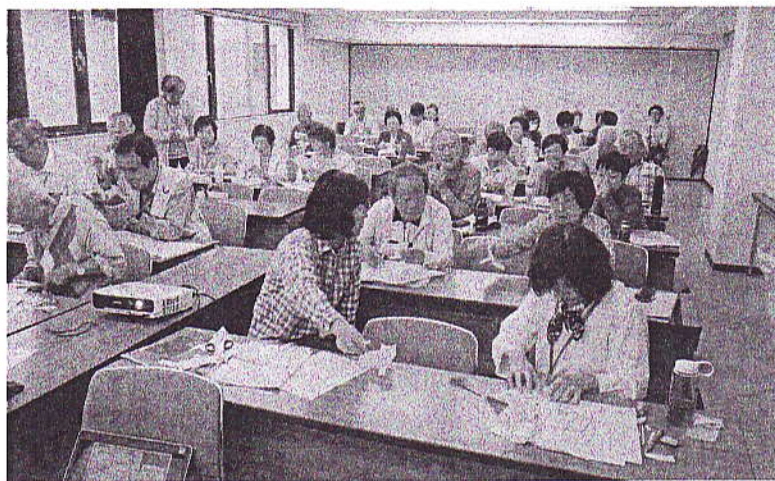
<区民カレッジ>から<SA・子ども教室>

そして、<法円坂子どもプラザ>6月講座へ

科学の楽しさを伝える活動…これが生き甲斐!



■<何があってもシメタ>…いつでも、笑顔が見える方向へ動いていきたい!



★5月20日(月)は、区民カレッジ西校で授業。午前は<おもしろ電気学入門<自由電子が見えたなら>。午後<脳トレ!おもしろチャレンジタイム!>でした。午後からの脳トレタイムも予想以上に楽しくできました。通夜の時刻に間に合わせようと焦りましたが、「忘れられない一日」になりました。

★楽しみしていた遠足(奈良)

に行けなかったことは本当に残念ですが、「<スキル発表>や6月の懇親会」で皆さんとの交流を深めてたいと思います。



★「孤独・退屈・一方的な押しつけ」…それがなければ子どもたちは輝いていくものです。でも、いまの学校には、「孤独・退屈・一方的な押しつけ」がいっぱい。子どもたちに輝いてもらうのが教師の仕事。だから、なんとか「たのしい!」とってもらえるような授業をしたい。〈どうしてもいいような内容〉を、さも大切なことのように教えたくない。〈輝いて!〉笑顔のひろがる授業・教室…を創り上げたい。(犬塚清和:ルネサンス高校校長・仮説実験授業研究会事務局長)

●憧れであり目標の人、犬塚さんの告別式は今日です。偶然にも、今日の授業は、<もしも原子が見えたなら>と「空気の分子模型作り」。もうすぐ原子になる犬塚さんですが、音田の心の中ではいつまでも<輝いて!>います。<動け!>が口癖の犬塚さん…。別れの寂しさは、心の輝きで埋めていきます。

■<法円坂子どもプラザ>6月8日講座・B音田クラスは、

<原子・分子から素粒子へ>見えない世界を探検しよう！

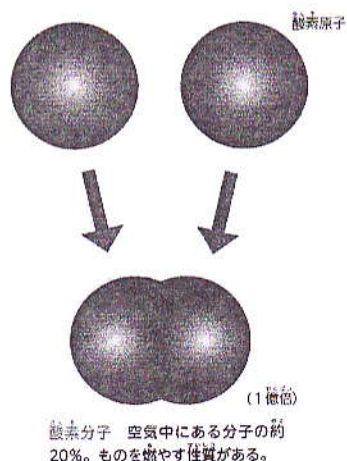
<法円坂子どもプラザ>Bクラス(音田・佐藤)には、リピーター受講生が40名います。昨年度、<もしも原子が見えたなら>と「空気の分子模型作り」を体験しています。リピーターの子供達には、「新しいプラン(内容)の提供が必要!」と考えました。そこで考えたプランが、<原子の構造から素粒子へ:最小粒子入門「原子の中をのぞいたら」>です。「原子の中をのぞく!」という導入なら小学生にもイメージしやすいのではないのでしょうか。「原子の中をのぞいたら…何が見えるのだろうか??」ワクワク感が生まれてくるとは思いますがさてどうでしょうか。

第1部では、「空気中の原子・分子」を調べてきました。それでは、原子の中はいったいどうなっているのでしょうか。原子の中をのぞくとしたら、どんな電子顕微鏡でも無理ですが、科学者がいろいろ考え実験した結果、今では原子の中のことまで、とても詳しくわかってきました。では、科学者の研究したことを調べていくことにしましょう。

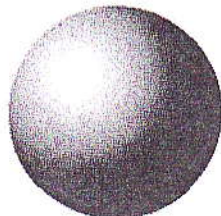
【質問5】

酸素原子は、どうして酸素分子になって、空気中を動いているのだと思いますか。またアルゴンは、どうして酸素のように2つの原子が結合して分子にならないのでしょ

酸素原子・赤色



紫色



うか。あなたは どう 思いますか。

予想



★アルゴン原子 …「不活性気体=希ガス(貴ガス)」ともいわれる。他の原子とほとんど結合(化合)しない。(元素周期表では18族)

★さて、この【質問5】にはどう答えれば良いのでしょうか。現職の頃から、同様の質問を受けていました。「シメタ! やっぱり 気になります。これは素朴で基本的な疑問だ!」と嬉しくなりました。★科学者はどう説明するのでしょうか。やっぱり原子構造の基本から説明するのでしょうか。皆さんも科学者になったつもりで、音田に教えてください。